



Chapter 5

公開設定を活用した アクセス制御

この資料では、Chapter 4 でご説明したデータベースやレイアウトの公開設定を組み合わせることで、レコードへのアクセスをどのように制御できるかをご説明します。

公開設定を活用することで、ログインユーザーに応じてアクセスを許可するレコードやフィールドを柔軟にコントロールすることができます。具体例を挙げながら設定方法を解説しています。

Chapter 5 : 公開設定を活用したアクセス制御

- ◆ 公開設定とアクセス権の設定例
 - ・ 例1 : ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる
 - ・ 例2 : 参照可能なフィールドを制限する
- ◆ 内容を編集できないフィールドを設定
- ◆ まとめ

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

データベースやレイアウトの公開設定を活用することで、1つのデータベースに対してユーザーのアクセス権限を柔軟に設定することができます。
以下、2点ほど具体的な設定例をご紹介します。

例1：ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる

[背景のニーズ]

- ・1つのデータベースで複数の開発プロジェクトの不具合情報を管理したい
- ・ユーザーの業務区分ごとにアクセスできるレコードを制限したい（下表）

ユーザー	付与するアクセス権
品質管理部門	すべてのプロジェクトのレコードに対し、閲覧・作成・編集を許可
開発部門・上長	すべてのプロジェクトのレコードに対し、閲覧のみ許可
開発部門・一般社員	各ユーザーが業務で関与しているプロジェクトのレコードのみ、閲覧・作成・編集を許可

設定例

新しいレコード

管理番号 (自動で入力)

件名

登録日時 2014/05/14

商品プロジェクト

該当する商品プロジェクトを選択します

プロジェクト* 選択してください
プロジェクトA
プロジェクトB
プロジェクトC

不具合内容

現象

原因

対策

保存して閉じる 保存 キャンセル 保存して次へ

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例1：ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる

グループ	グループに含まれるユーザー
すべてのグループ	品質管理
サンプル	
実践例説明用	
品質管理部門	
開発部門	
管理者セミナー	

グループ	グループに含まれるユーザー
すべてのグループ	開発部門A
サンプル	開発部門B
実践例説明用	開発部門C
品質管理部門	開発部門上長
開発部門	
管理者セミナー	

説明例として「品質管理部門」グループと「開発部門」グループにユーザーを登録

アクセス権			
▼ フォルダの設定を反映		+ グループ/ユーザーの追加	
グループ/ユーザー	データベース	レコード	関連要素
品質管理	閲覧	▼ 閲覧 / 作成 / 編集	▼ 作成不可
開発部門上長	閲覧	▼ 閲覧	▼ 作成不可

データベースの公開設定＞レコードの項にて品質管理部門のユーザーは[閲覧/作成/編集]、開発部門の上長ユーザーには[閲覧]を許可

グループ/ユーザー	データベース	レコード	関連要素
品質管理	閲覧	▼ 閲覧 / 作成 / 編集	▼ 作成不可
開発部門A	閲覧	▼ 詳細設定	▼ 作成不可
開発部門上長	閲覧	閲覧	可
		閲覧 / 作成 / 編集	
		✓ 詳細設定...	

開発部門の一般社員ユーザーは、追加後に[詳細設定]をクリック

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例1：ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる

レコードのアクセス権 詳細設定

許可するアクセス権にチェックを入れてください。

レコードのアクセス権

☒ レコード閲覧

☐ 全レコードの閲覧が可能
☐ 自分で作成/更新したレコードのみが閲覧可能
☒ 下の条件に合ったレコードのみが閲覧可能

条件変更...

☐ レコード新規作成

☐ レコード編集

☐ 既存レコードの変更

☐ 全レコードの変更が可能
☐ 自分で作成/更新したレコードのみが変更可能

☐ 既存レコード

☐ 全レコード
☐ 自分で作成/更新したレコードのみ

レコードのアクセス権の詳細設定より、
[下の条件に合ったレコードのみが閲覧可能]
を選択し、特定のプロジェクトのレコードだけを
閲覧・変更・削除できるように設定

レコード閲覧条件

次の ☐ すべての 条件に当てはまる

☒ プロジェクト が プロジェクトA である

☒ 作成者/更新者自身のレコードは常に表示

※大文字/小文字、半角/全角は区別して検索されます。

OK キャンセル

「プロジェクトA」担当のユーザーであれば
[プロジェクト] が [プロジェクトA] [である]
条件を満たすレコードのみアクセス可とする

グループ/ユーザー	データベース	レコード	関連要素
品質管理	閲覧	▼ 閲覧 / 作成 / 編集	▼ 作成不可
開発部門A	閲覧	▼ 詳細設定	▼ 作成不可
開発部門B	閲覧	▼ 詳細設定	▼ 作成不可
開発部門C	閲覧	▼ 詳細設定	▼ 作成不可
開発部門上長	閲覧	▼ 閲覧	▼ 作成不可

他のプロジェクトの担当ユーザー・グループも
同様にレコードのアクセス権を設定

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

□ 例1：ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる

■ データベースのレコード設計

1つのデータベースで複数のプロジェクトの情報を扱うため、そのレコードがどのプロジェクトに関するものかを判断する項目として、ドロップダウンフィールドで「プロジェクト」という項目を配置します。

この項目は「入力必須にする」設定としておき、レコード登録時には必ず選択しなければならないように指定します。

■ ユーザー・グループの設定

ここでは設定例として、「品質管理部門」グループと「開発部門」グループを作成し、各グループにユーザーを登録しています。

「開発部門」グループには各プロジェクトの担当ユーザーと上長ユーザーが存在します。

例では各役割を持つユーザーは1人ずつとしていますが、実際の業務では各部門やプロジェクトには複数のユーザーが関与していることが多いでしょう。

そうした場合は「開発部門」グループの下にさらに「プロジェクトA」「プロジェクトB」といった下位グループを作成し、グループ単位で公開権限やアクセス権限を設定することにより、1ユーザーずつ設定する手間を省くことができます。

■ データベースのアクセス権設定

データベースの公開設定から、データベースを公開する対象ユーザー・グループを選択していきます。

・ 品質管理部門のユーザー

レコードの [閲覧 / 作成 / 編集] 権限を与えます。

・ 開発部門の上長ユーザー

レコードの [閲覧] 権限を与えます

・ 開発部門の一般社員ユーザー

レコードアクセス権の詳細設定から、レコード閲覧条件として [下の条件に合ったレコードのみが閲覧可能] を選択し、閲覧できるレコードに条件を設定します。

表示された [レコード閲覧条件] ダイアログにて、例えば「プロジェクトA」担当のユーザーであれば [プロジェクト] が [プロジェクトA] [である] 条件を満たすレコードのみ参照可能と設定します。

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例1：ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる

以上の設定を行ったデータベースに各ユーザーでアクセスした場合の表示は、次のようになります。

登録済みの全レコード

☐	☐	管理番号	件名	登録日時	プロジェクト	現象	原因
☐		TR00001	ワッシャ摩耗によるスタッドホルト折損	2012/11/19(月)	プロジェクトA	スタッドホルトが折損し、バ	ドア開閉操作
☐		TR00002	ギアボックスより異音が発生する	2012/11/15(木)	プロジェクトB	使用しているとギアボックス	ギアとシャフトの
☐		TR00003	かじ取り操作ができなくなる	2012/12/20(木)	プロジェクトC	ハンドルを一杯に切る操作	かじ取り装置

品質管理部門ユーザーでアクセス

データベースの編集へ

品質管理

解除 新規 複製 編集 削除

表示 標準

1 - 3 / 3 件

すべてのレコードにアクセス可能

☐	☐	管理番号	件名	登録日時	プロジェクト	現象	原因	対策
☒		TR00001	ワッシャ摩耗によるスタッドホルト折損	2012/11/19(月)	プロジェクトA	スタッドホルトが折損し、バ	ドア開閉操作の繰り返し	現行：ワッシャの材質を変更し
☐		TR00002	ギアボックスより異音が発生する	2012/11/15(木)	プロジェクトB	使用しているとギアボックス	ギアとシャフトの接触部にお	検討中
☐		TR00003	かじ取り操作ができなくなる	2012/12/20(木)	プロジェクトC	ハンドルを一杯に切る操作	かじ取り装置において、	設計の見直しを進める。

レコードの編集

管理番号: TR00001

件名: ワッシャ摩耗によるスタッドホルト折損

登録日時: 2012/11/19

商品プロジェクト: 該当する商品プロジェクトを選択します

プロジェクト*: プロジェクトA

レコードの編集や新規作成も可能

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例1：ユーザーが関連するプロジェクトのレコードのみアクセスさせる

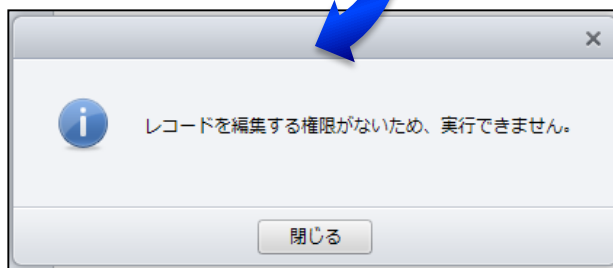
開発部門の上長ユーザーでアクセス

データベースの編集へ 開発部門上長

表示▼ 標準

1 - 3 / 3 件

管理番号	件名	登録日時	プロジェクト	現象	原因	対策
TR00001	ワッシャ摩耗によるスタッドボルト折損	2012/11/19(月)	プロジェクトA	スタッドボルトが折損し、バルブ開閉操作の繰り返し	現行：ワッシャの材質を変更し	
TR00002	ギアボックスより異音が発生する	2012/11/15(金)	プロジェクトB	使用しているとギアボックス	ギアとシャフトの接触部にお	検討中
TR00003	かじ取り操作ができなくなる	2012/12/20(金)	プロジェクトC	ハンドルを一杯に切る操作	かじ取り装置において、	設計の見直しを進める。



閲覧権限しか持たないので、編集や作成を行おうとすると警告が表示されブロックされる

開発部門の一般社員ユーザーでアクセス

データベースの編集へ 開発部門A

表示▼

管理番号	件名	登録日時	プロジェクト	現象
TR00001	ワッシャ摩耗によるスタッドボルト折損	2012/11/19(月)	プロジェクトA	スタッドボルトが折

各ユーザーにアクセス権があるレコードのみ表示される

データベースの編集へ 開発部門B

表示▼

管理番号	件名	登録日時	プロジェクト	現象
TR00002	ギアボックスより異音が発生する	2012/11/15(金)	プロジェクトB	使用していると

データベースの編集へ 開発部門C

表示▼

管理番号	件名	登録日時	プロジェクト	現象
TR00003	かじ取り操作ができなくなる	2012/12/20(金)	プロジェクトC	ハンドルを一杯に切

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例2：参照可能なフィールドを制限する

[背景のニーズ]

- ・社員情報を管理するデータベースを作成したい
- ・社員データは全社員に公開して使用したいが、個人情報や人事情報などは人事部門の担当者のみアクセスできるようにしたい

データベースのフィールド

氏名

内線番号

所属部署

個人連絡先

自宅住所

自宅電話番号

人事情報

給与ランク

賞与評価

基本的な情報は全社員に公開

個人情報や人事情報などは人事部門の担当者のみアクセス

「社員情報」データベースとして上の図のようなフィールド構成のデータベースを作成します。

- 「氏名」「内線番号」「所属部署」などの基本的な情報は全社員を対象に一般公開して使用します。
- 個人の連絡先や、人事評価項目など、機密情報は特定のユーザー以外には公開しないように設定します。

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例2：参照可能なフィールドを制限する

設定例

説明例として「一般社員」グループと
「人事部門」グループにユーザーを登録

一般社員向けの新しいレイアウトを作成
レイアウト名は「一般公開用」とする

[既存のフィールド] から、
一般に公開する3つのフィールドを
一覧とフォームに配置する

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例2：参照可能なフィールドを制限する

人事部門向けの新しいレイアウトを作成
レイアウト名は「人事部門用」とする

レイアウトの作成

レイアウト名: 人事部門用

OK キャンセル

[既存のフィールド] から、
すべてのフィールドを一覧とフォームに配置
(標準レイアウトを複製しても可)

データベースの公開設定で、
一般社員グループには閲覧権限のみ、
人事部門グループには閲覧/作成/編集権を設定

アクセス権

▼ フォルダの設定を反映

+ グループ/ユーザーの追加 -

グループ/ユーザー	データベース	レコード	関連要素
管理者セミナー 一般社員	閲覧	▼ 閲覧	▼ 作成不可
管理者セミナー 人事部門	閲覧	▼ 閲覧 / 作成 / 編集	▼ 作成不可

アクセス権の反映

このデータベースに含まれる、フィルター、クロス集計、レイアウト、帳票の
アクセス権にも、データベースのアクセス権を反映しますか？

※データベースを閲覧するには、レイアウトのアクセス権も
※すでにアクセス権を設定している場合も上書きされます。

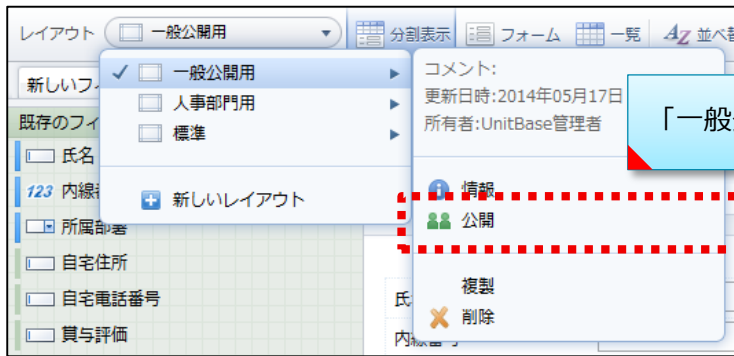
選択して反映 反映しない

関連要素へのアクセス権は
個別に設定する必要があるため
[反映しない] を選択する

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

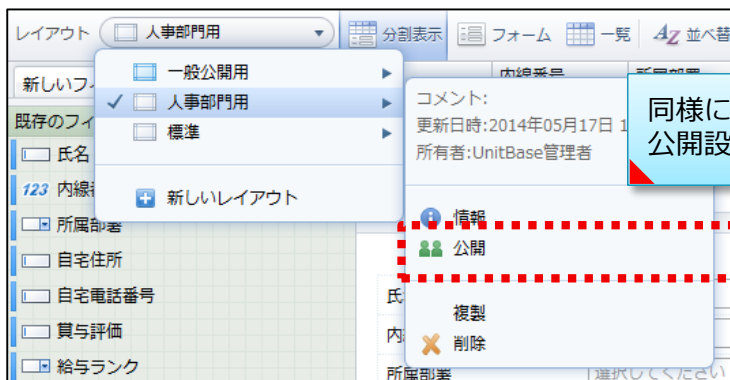
例2：参照可能なフィールドを制限する



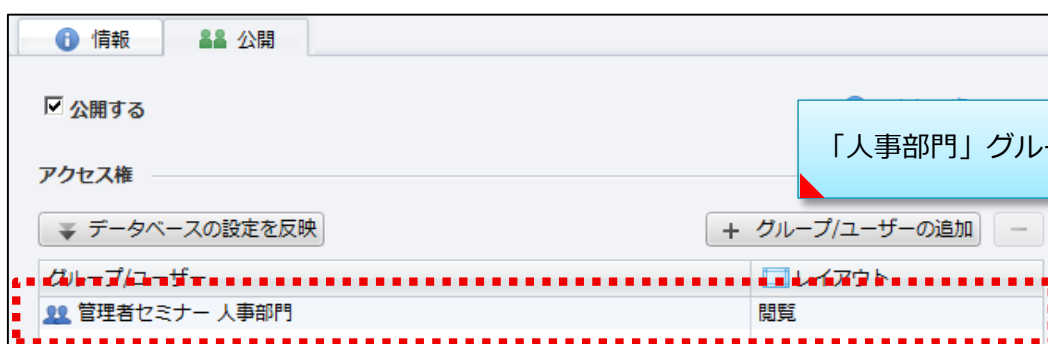
「一般公開用」レイアウトの公開設定を開く



「一般社員」グループに閲覧権を設定



同様に「人事部門用」レイアウトの公開設定を開く



「人事部門」グループに閲覧権を設定

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

□ 例2：参照可能なフィールドを制限する

■ データベースのレコード設計

社員情報を管理するデータベースを1つ用意し、氏名や所属部署など一般公開する情報と、個人情報や人事情報など一部の人事部門のユーザーのみに公開する情報とを、まとめて管理します。

■ レイアウトの設計

上記のようなデータベースを運用するため、「一般公開用」と「人事部門用」の2種類のレイアウトを作成します。

- ・一般公開用レイアウト
氏名や所属部署など、一部のフィールドをのみを配置します。
- ・人事部門用レイアウト
すべてのフィールドを配置します。

■ ユーザー・グループの設定

ここでは設定例として、「一般社員」グループと「人事部門」グループを作成し、各グループにユーザーを登録しています。

■ データベースのアクセス権設定

データベースの公開設定から、データベースを公開する対象ユーザー・グループを選択していきます。

- ・一般社員グループのユーザー
レコードの [閲覧] 権限を与えます。
※ここでは、社員情報の編集は一般社員には許可しない運用を想定しています。
- ・人事部門グループのユーザー
レコードの [閲覧 / 作成 / 編集] 権限を与えます

■ レイアウトのアクセス権設定

作成したレイアウトの公開設定を開き、アクセス権を設定します。

- ・一般公開用レイアウト
一般社員グループのユーザーに公開します。
- ・人事部門用レイアウト
人事部門グループのユーザーに公開します。

公開設定を活用したデータアクセスの具体例

公開設定とアクセス権の設定例

例2：参照可能なフィールドを制限する

以上の設定を行ったデータベースに各ユーザーでアクセスした場合の表示は、次のようになります。

一般社員グループのユーザーでアクセス

データベースの検索

データベース

社員情報

氏名 内線番号 所属部署

☒	沢田仁明	5001	営業部
☐	森見太	5002	開発部
☐	矢島幸男	5003	マーケティング部

一部のフィールドのみ参照可
レコードの編集・作成は不可

レコードを編集する権限がないため、実行できません。

閉じる

人事部門グループのユーザーでアクセス

データベースの検索

データベース

社員情報

氏名 内線番号 所属部署 自宅住所 自宅電話番号 給与ランク

☒	沢田仁明	5001	営業部	東京都 港区	03-xxxx-xxxx	A1
☐	森見太	5002	開発部	東京都 千代田区	03-xxxx-xxxx	B1
☐	矢島幸男	5003	マーケティング部	埼玉県 さいたま市	048-xxxx-xxxx	S2

すべてのフィールドを参照可
レコードの編集・作成も可能

レコードの編集

氏名 徳島 太郎

内線番号 5862

所属部署 営業部

個人連絡先

自宅住所 徳島県徳島市〇〇町 3-5-21

自宅電話番号 088-xxx-xxxx

人事情報

給与ランク A2

賞与評価 xxxxxx

元に戻す 保存して閉じる 保存 キャンセル 保存して次へ

編集不可のフィールドを設定する

内容を編集できないフィールドを設定

レイアウトごとに、フィールドの値を編集不可に設定することができます。一覧やビューア画面上で内容の閲覧は許可しつつ、データ編集は禁止することが可能です。

レイアウトごとの設定となるため、例えば「すべてのフィールドを編集可能なレイアウト」と「一部のフィールドのみ編集可能なレイアウト」の2つのレイアウトを設け、ユーザー/グループに応じてレイアウトの公開設定で使い分けるといった利用が考えられます。

顧客コード*

顧客組織

顧客会社名*

会社名フリガナ Aa

顧客担当

顧客担当者名

担当者名フリガナ Aa

登録日時 20

フィールドの編集

非表示にする

下のセルと結合

✓ 値を編集不可にする

フィールド

フィールド

フィールドの設定で
[値を編集不可にする]
設定を有効化

レコードの編集

顧客コード* C00001

顧客組織

顧客会社名* 製造A社

会社名フリガナ Aa セイソウエーシャ

レコードの編集画面で
入力フォームがグレースアウトし
入力を受け付けなくなる

編集不可のフィールドを設定する

内容を編集できないフィールドを設定

明細内に配置されているフィールドも通常のフィールドと同じように値の編集を禁止できます。また、明細行の追加・削除・並べ替えを禁止することも可能です。

明細の編集

- 明細の編集
- 非表示にする
- 右のセルと結合
- 下のセルと結合
- ☒ 明細の行操作を不可にする

明細

品名	単価	数量	合計
ノートパソコン	¥ 95000	2	¥ 190000
モニター	¥ 42000	3	¥ 126000

レコードの編集画面で明細行の操作ボタンが非表示になります

明細フィールドの設定で
[明細の行操作を不可にする]
設定を有効化します

手動ロックアップキーでは、ロックアップキーフィールドのみ編集不可とするか、従属するロックアップフィールドも編集不可とするかを設定できます。

フィールドの編集

- フィールドの編集
- 非表示にする
- 右のセルと結合
- 値を編集不可にする
 - 設定しない
 - ロックアップキーのみ
 - ☒ ロックアップキーと従属するロックアップすべて
- フィールドの削除

ロックアップキーとロックアップの両方を編集不可にする場合

レコードの

取引先コード C00001

取引先会社名 製造A社

取引先部署名 品質管理部

ロックアップの値が手動編集不可になります

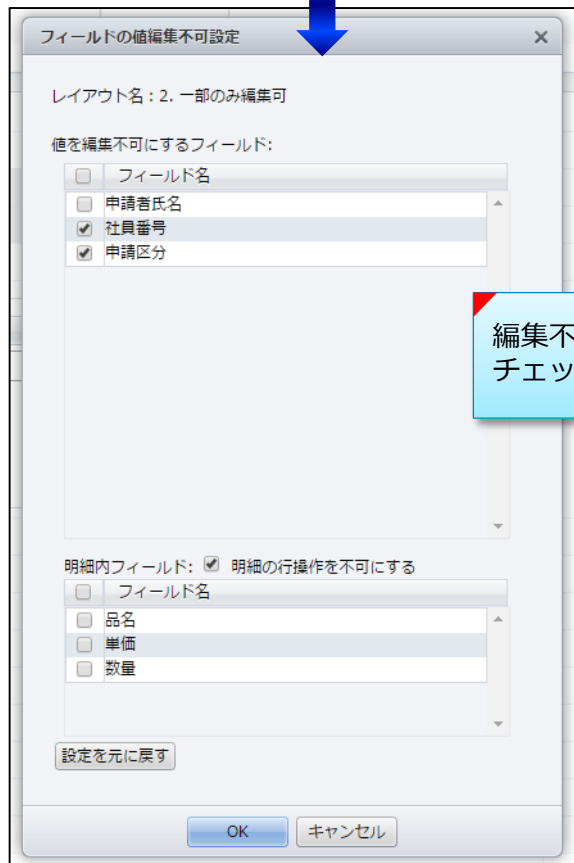
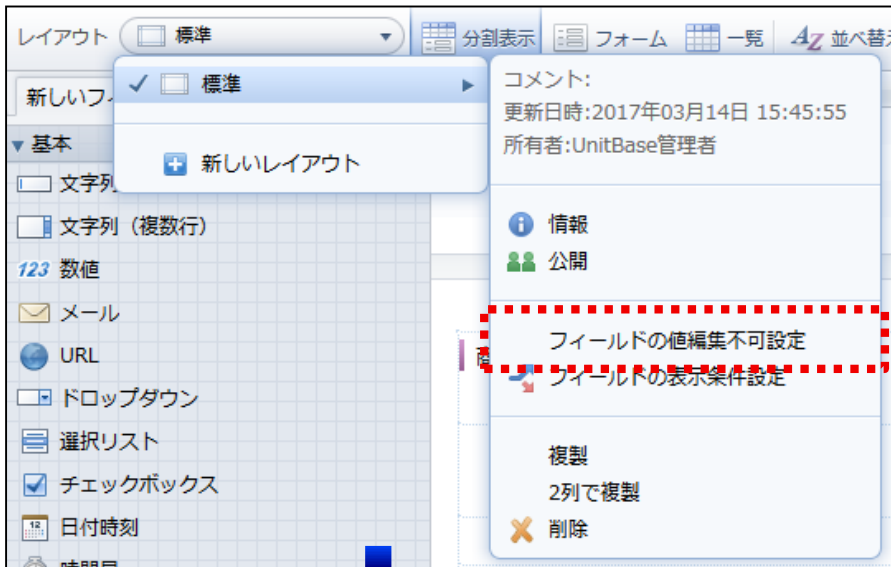
ロックアップテーブルの参照や値の更新ボタンが非表示になります

操作内容（手動ロックアップキー / 手動ロックアップに対して）	設定しない	ロックアップキーのみ	ロックアップキーと従属するロックアップすべて
ロックアップテーブルを開く	○	×	×
ロックアップ値の更新	○	×	×
従属するロックアップの手動編集（「編集可能にする」ONのロックアップ）	○	○	×
従属するロックアップの手動編集（「編集可能にする」OFFのロックアップ）	×	×	×

編集不可のフィールドを設定する

内容を編集できないフィールドを設定

どのフィールドの値を編集不可にするかは、レイアウトのメニューから一括設定することもできます。



編集不可にするフィールドの
チェックをONにします

公開設定を活用したアクセス制御

まとめ

フォルダー・データベースの公開設定と、ここでご説明したアクセス制御を組み合わせることで、ログインユーザーに応じて

- ・ どのデータベースにアクセスを許可するか
- ・ データベースの中でどのレコードにアクセスを許可するか
- ・ レコードに含まれるどのフィールドにアクセスを許可するか

といった制御を柔軟に設定することができます。

同時に「閲覧だけ許可する」「内容の編集も許可する」といった制御も加えることで、活用に様々な幅が広がります。

例) 1つの「作業記録」レコードの中に「工程A」「工程B」「工程C」と複数のステップがあり、各工程を担当するユーザーが分かれている場合、自身の担当工程だけ編集を許可、担当外の工程は閲覧のみ許可する

公開設定を活用して様々な業務にお役立てください。